

行政事業レビューシート (厚生労働省)

予算事業名	血液製剤対策推進事業	事業開始年度	昭和36年度	作成責任者		
担当部局庁	医薬食品局	担当課室	血液対策課	課長 三宅 智		
会計区分	一般会計	上位政策	-			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	・血液製剤の安全性の向上及び安定供給の確保を図るための基本的な方針(平成20年6月6日厚生労働省告示第326号) ・献血推進計画(平成22年3月26日厚生労働省告示第110号)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	安全な血液製剤の安定供給の確保等を目的として、献血の推進に関する計画を策定し、血液製剤の安全性の向上、安定供給の確保及び適正使用の推進を図る。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	医療に必要な血液製剤をすべて献血で確保するための体制確保や血漿分画製剤の国内自給体制の確立及び品質の確保を図るほか、血液製剤の基礎的調査を行う。					
実施状況	平成21年度の実績 ・7月16日に献血運動推進全国大会を長崎県佐世保市で実施、参加人数2,106人。 ・10月27日に献血推進運動中央連絡協議会を厚生労働省で実施 参加人数37人。 ・「愛の血液助け合い運動」ポスター36,140枚を作成し、関係機関・団体等に配布。 ・「はたちの献血」キャンペーン ポスター39,375枚を作成し、関係機関・団体等に配布。 ・中学生向けポスター36,100枚を作成し、関係機関・団体等に配布。 ・高校生向け啓発読本を1,150,500部作成し、配布。 ・高校教員向け啓発読本を60,700部作成し、配布。 ・幼少期の子及びその親に対する献血普及啓発のため、ホームページを作成。 ・フィブリノゲン製剤納入医療機関公表に伴う電話相談窓口を厚生労働省内に設置。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	123	127	102	79	99
	執行額	101	108	86		
	執行率	82%	85%	84%		
	総事業費(執行ベース)	101	127	71		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	支出の大部分は、献血キャンペーンのポスター及び啓発読本の印刷経費であり、全国の都道府県・市町村等の関係機関、中学校、高等学校等に配布している。また、フィブリノゲン製剤納入医療機関公表後の電話相談窓口を設置している。				
	見直しの余地	配布する啓発資材については、最新の医学的知見を取り入れた内容とし、質の向上を図る。また、ポスター、啓発読本の印刷部数については、配布先に対して必要最小限の数にする。				
率化率 新子 見 の	血液製剤の安定供給の確保等のために必要な経費であり、ここ数年不用額が生じているものの、22年度予算において見直しを行っており、引き続き効率的な執行に努めること。					
補記						

厚生労働省
86百万円

〔献血推進計画に基づき、国として必要な措置を講ずる。〕

【随意契約】

A. (株)電通
3百万円

〔ポスターのデザイン作成〕

【一般競争入札・随意契約】

B. 民間企業等
18百万円

(内訳)
(株)アイネット14百万円
(株)太陽美術 2百万円
(株)正陽印刷 1百万円
(株)城南印刷 1百万円
(株)インテックス
大和綜合印刷(株)
(独)国立印刷局

〔各種啓発資材等の印刷〕

【一般競争入札・随意契約】

C. 民間企業
6百万円

(内訳)
協新流通デベロッパー(株)
3百万円
(株)オリエンタル物流
2百万円
(株)内山回漕店
1百万円

〔各種啓発資材の梱包発〕

【企画競争】

D. (株)中外
5百万円

〔幼少期の子どもに対する啓発用HPの作成〕

【企画競争】

E. (株)NTTアド
4百万円

〔献血普及啓発用ホームページ作成〕

【一般競争入札】

F. 民間企業
11百万円

(内訳)
富士ソフトサービスビューロ
(株) 9百万円
(株)ダブルユファイブ・スタッフサー
ビス 2百万円

〔フィブリノゲン製剤
相談窓口業務〕

【企画競争】

G. (社)日本輸血・細胞
治療学会
9百万円

〔血液製剤使用実態調査〕

H. 委員謝金及び旅費
1百万円

〔委員会出席謝金及び旅費〕

うち 事務費 16百万円

【随意契約】

G. 日本赤十字社
2百万円

〔特殊血液調査事業〕

【一般競争入札】

J. 日本能率協会総合研究所
4百万円
委託契約

〔血液製剤使用実態調査等事業〕

【随意契約】

J. 各合同輸血療法委員
会
7百万円

〔血液製剤使用適正化方策〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A.(株)電通			E.(株)NTTアド		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務	ポスターデザイン作成	3	役務	献血普及啓発用ホームページ作成	4
計		3	計		4
B.(株)アイネット			F.富士ソフトサービスビューロ(株)		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
印刷製本費	高校生向け副読本の印刷	14	役務	電話相談窓口業務	9
計		14	計		9
C.協新流通デベロッパー(株)			G.(社)日本輸血・細胞治療学会		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
梱包発送	啓発資材の梱包発送	3	役務	血液製剤使用実態調査	9
計		3	計		9
D.(株)中外			H.委員謝金及び旅費		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務	献血普及啓発広報作成費	5	謝金旅費	献血推進運動中央連絡協議会	1
計		5	計		1
I.日本赤十字社			J.日本能率協会総合研究所		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
消耗品	特殊血液調査事業	2	通信運搬	データベース構築	1
			賃金	調査員	2
			役務	血液製剤安全性情報調査	1
計		2	計		4
K.各輸血合同療法委員会					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
庁費	会議費、印刷製本費等	6			
謝金旅費	講演会出席等	1			
計		7	計		0